

第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」

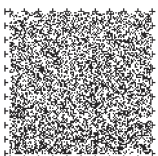
1 取組の背景

- 働き方の多様化や仕事と子育てや介護の両立、ひとり親家庭への支援などの社会的ニーズがあります。
- 発達に課題があり支援が必要な子どもが増加傾向にあります。
- 家庭や地域におけるつながりの希薄化や経済的困窮など様々な要因が相まって、社会問題として子どもの貧困や虐待などがクローズアップされており、子どもの養育環境の改善をはじめ、多様で継続的な支援が必要であると考え、「三次市子どもの未来応援宣言」を策定しました。
- 子どもたちの学力や体力・運動能力の向上に向けた取組を進めていますが、個人差が見られます。
- 家族や地域社会とのつながりが希薄化していく中で、社会関係がうまく築けない状況が生まれています。
- 本市の中学校を卒業する生徒のうち約4割は、市外の高校等へ進学し、三次を離れて学んでいます。
- 多くの市民が、お互いに助け合う「共助」の重要性を感じているとともに、「共助」を担っていきたいと考えています。
- スポーツ施設が整備され、市民の運動習慣は定着しつつありますが、指導者の育成やサポート体制の取組が不十分です。
- 市民が芸術・文化に触れる機会が確保され、地域や学校などと連携した地域の歴史・伝統・文化の継承・活用の取組を進めていますが、より一層の芸術・文化の継承と創造・発信の取組が求められています。
- 男女共同参画、平和・人権については、地道な取組を継続しているものの、市民一人ひとりへの十分な浸透には、至っていません。



2 取組の方向性

- 子育てと仕事が両立できる環境づくりを、より一層充実します。
- 子どもたちの健やかな成長を支援します。また、発達に課題のある子どもたちの支援を充実します。
- 「三次市子どもの未来応援宣言」に基づき、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援・相談体制を強化するとともに、市民・地域・学校・行政などが連携・協力しながら、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援に取り組みます。
- 乳幼児教育の充実を図り、小学校教育への円滑な接続に向けた取組を推進します。
- 一人ひとりの子どもたちに応じた学力と体力を身に付けさせます。
- 学校・家庭・地域が協働して地域の将来を担う子どもたちを大切に育てる「**小中一貫教育***」を推進します。また、子どもたちの可能性を最大限伸ばし、地域に誇りと愛着を持ちつつ、グローバル化する世界で活躍できる人材を育成します。





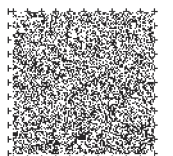
ひとづくり

- 子育て
- 教育
- スポーツ・文化
- 男女共同参画・平和・人権

- 子どもたちと家族や地域とのつながりをより深める取組を推進し、社会関係を形成する力を育てます。
- 子どもたちが、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りと愛着をもって成長していけるよう取り組みます。
- 社会参加意識が高まる生涯学習^{*}、地域を学び、愛着を育む生涯学習を推進します。
- ライフステージ^{*}に応じて日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える活動に参画できる環境づくりを進めるとともに、多面的な観点から、スポーツ施設の充実を図ります。
- 本市の文化・芸術を発展的に継承、創造し、発信する取組を強化します。
- 海外の姉妹都市・友好都市を中心に、様々な国際交流を進め、国際感覚豊かなひとづくりを進めます。
- 男女共同参画社会^{*}の実現に向け、家庭と仕事が両立できる環境づくり、まちづくりへの女性参画など実践につながるひとづくり、安心づくりに取り組みます。
- 「平和ですべての人の人権が尊重される社会」の実現に向けて、平和の継承、人権尊重の普及・啓発を行い、他者と共感し、多様性を認め合うひとづくり、地域づくりに取り組みます。

【施策の成果をはかるのに参考となる指標】

指標	策定当時 (平成24(2012)年度)	改訂時 (平成29(2017)年度)	令和5(2023)年度
合計特殊出生率 [*]	1.65	1.49	現状値より向上
待機児童 [*] 数	0人	0人	0人
基礎学力及び教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力が身に付いている児童・生徒の割合(平均通過率 [*])	(H25(2013)) 74.1%	71.9%	教科全体75%以上
体力・運動能力調査結果における順位	(H25(2013)) 小5男 12位 小5女 12位 中2男 15位 中2女 9位	小5男 15位 小5女 15位 中2男 7位 中2女 16位	小5・中2とも 県内5位以内
併設型中高一貫教育校の誘致	—	誘致決定	—
チャレンジデー [*] 参加率	(H25(2013)) 32.3%	(H30(2018)) 71.0%	見直し後 75.0% (策定当時の目標値50.0%)
2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致	—	メキシコ選手団事前合宿地決定(2競技)	—
文化施設利用人数(奥田元宋・小由女美術館, 市民ホールほか)	175,576人	182,631人	200,000人
「社会全体として男女平等である」と感じている市民の割合	(H21(2009)) 14.7%	(H26(2014)) 11.2%	50.0%
市が設置する審議会等の女性委員の割合	28.3%	30.4%	50.0%



3 具体的な取組

(1)子育て ～子どもの成長を育むまち～

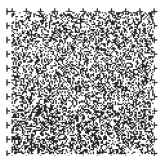
ア 一人ひとりの育ちを大切に作る環境づくり

- 乳幼児健診の受診促進と健診後のフォローの強化
- 健康で豊かに育つための保育の質の向上
- 乳幼児教育の充実
- 継続的な支援をめざした保育所・幼稚園・小中学校の連携強化
- 児童虐待などの早期発見・早期対応・早期ケアの充実と各関係機関との連携強化
- 総合的、継続的な発達支援体制の確立
- 障害のある子どもや発達に課題のある子どもの保育の充実
- **こども発達支援センター***の充実
- 放課後などの子どもの居場所の確保
- **食育***の充実
- 子どもの確かな育ちを実現する
保育所規模の適正化



イ 子育てしやすい家庭環境づくり

- 妊娠・出産・子育てにかかる負担の軽減の安定的な継続
- 妊娠・出産・子育て相談支援センター(ネウボラみよし)*の充実
- 小児救急医療24時間体制の堅持
- 3歳未満児保育の拡充
- 親子で安心して遊べる場の確保
- **地域子育て支援センター***の充実
- 企業などの子育て支援の促進
- 保護者の就労形態や生活形態の多様化に対応した保育サービスの提供
- ひとり親家庭の自立に向けた支援の充実
- これから親となる世代の育成



ウ 子育てを地域で支える環境づくり

- 子育て相談体制, 子育てに関する学習機会の充実
- 地域の力を活かした子育て支援の充実(子育てサポート事業*・子育てサークルなど)
- 地域ぐるみの子ども見守り活動の促進
- 放課後の居場所づくりなど地域の人材を活かした子育て支援の促進
- 子どもたちが地域の高齢者などとともに過ごす機会の提供
- 男性の子育て参画の促進と支援強化

市民一人ひとりの「参加」「行動」「対話」(例示)

- 子育てサークル, 青少年育成団体に参加する
- 地域で放課後の子どもたちの居場所を確保する
- 自然体験の環境提供, 地域参加の機会づくりやサポートをする

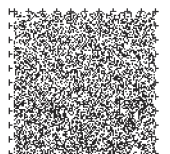
など



(2)教育 ～ふるさとが子どもを育て, 子どもがふるさとを誇りにできるまち～

ア ふるさと三次を愛し, 未来を創造する力を育む教育の推進

- すべての児童・生徒に基礎学力・基礎体力を身に付けさせる取組の充実
- 知識を活用し, 協働して新たな価値を生み出す力を育む教育の推進
- 個に応じた指導によるさらなる学力向上の推進
- 自己表現力と他者と共感する力を育む教育の推進
- グローバル化, 情報化などの社会変化に対応できる人材の育成
- 日本一の英語教育の推進とコミュニケーション*能力の育成
- ICTを効果的に活用した教育やプログラミング教育の推進
- 子どもの夢を応援する場・チャレンジする場の提供
- 道徳教育の充実
- 連続性のある特別支援教育の推進
- ふるさとの自然・歴史・文化・産業・ひとなどを学び, 愛着を育む教育の推進
- 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育*の推進
- 併設型中高一貫教育校との連携の推進



イ 学校・家庭・地域の協働による教育力の向上と補完機能の強化

- 地域と学校の連携・協働の強化
- 家庭教育機能を強化するための組織づくりと取組の推進
- 乳幼児教育の充実
- 市民による子どもたちの学習支援活動などの取組の推進
- 地域の教育資源を活用した教育活動の充実
- 地域に根差した食育の充実
- 防災教育*の推進



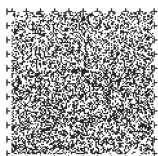
ウ 活力と信頼の学校づくり

- いじめの積極的認知と早期解決, 不登校児童・生徒の自立に向けた支援の強化
- 悩みを抱える児童・生徒を支援する相談体制の充実
- 幼, 保, 小, 中, 高の連携推進
- 三次独自の小中一貫教育の推進
- 安全で安心な学習ができる学校づくりの推進
- 使命感を持ち挑戦する意欲のある教職員の育成
- 児童・生徒の確かな学びを実現する学校規模の適正化

市民一人ひとりの「参加」「行動」「対話」(例示)

- 保護者同士のネットワークをつくる
- 部活動の指導や多様な個性を持つ子どもへの対応を行う
- 地域で子どもを見守る

など



(3)スポーツ・文化 ～学びたい気持ちを応援するまち～

ア “スポーツのまち みよし”の実現

- 地域のスポーツ団体の活動やチャレンジデーなどを通じた市民誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- “いきいき健康日本一”と連動したスポーツを通じた健康づくりの推進
- 生涯スポーツ*の指導者の育成・サポート体制の強化
- スポーツ施設を活用した合宿や大会の誘致の取組強化
- 地域資源を活かしたスポーツイベントの推進
- スポーツ施設の整備(災害対応等多機能化)

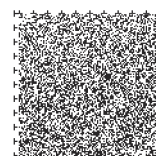
イ スポーツを通じて子どもの夢を応援！

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿を通じた夢の贈り物の実現
- プロスポーツ試合の開催やトップアスリート*による様々なスポーツ教室の開催
- 子どもが実施したいスポーツができる環境の整備
- 子どもの体力・運動能力向上への支援



ウ 三次の文化・芸術の発展継承と創造

- 市民ホールをはじめとする文化施設を活かした三次独自の芸術文化の創造・育成・普及
- 美術館や資料館を活かした文化・芸術の発信
- もののけを活かした地域文化の創造と発信
- 文化・芸術活動の場の提供
- 文化団体などのネットワーク化の促進
- 文化・芸術に関わるボランティア*活動の推進



エ 歴史・伝統・文化の継承と発展

- 祭り、神楽など伝統文化の継承と保護
- 三次の歴史・伝統・文化に学び、継承する取組の推進
- 地域固有の資源として三次の文化遺産の魅力を高める取組の推進



オ 学ぶ気持ちを応援する生涯学習の推進

- 三次(地域)を学び、愛着を育む生涯学習機会の提供
- 生涯学習を通じた人材の育成
- 社会参加の促進と学びの成果をまちづくりへ活かす機会の提供
- 高齢者の活躍の場づくりの推進

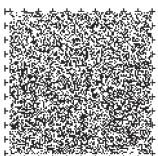
カ 国際交流の推進

- 市民や地域が主体となった国際交流活動の推進
- 国際交流活動を通じた幅広い視野をもつ人材の育成
- 在住外国人が暮らしやすい環境づくりの推進(コミュニケーション支援, 地域活動への参加など)

市民一人ひとりの「参加」「行動」「対話」(例示)

- 全市民が参加できるスポーツ大会を開催し、参加する
- 文化・芸術に関わるボランティアを行う
- 地域の祭りや食文化の伝承を行う

など



(4)男女共同参画・平和・人権 ～みんなが協力してつくる、人にやさしく住みよいまち～

ア 男女がともに活躍できる環境の充実

- 家庭と仕事が両立できる環境づくりの推進
- 女性の就労の促進
- 男性の子育て参画の促進と支援強化
- 企業などの子育て支援の促進
- 保護者の就労形態や生活形態の多様化に対応した保育サービスの提供
- 家庭、地域、職場などあらゆる場における男女共同参画に対する理解の浸透
- 男女共同参画の意識啓発、教育、学習機会の充実

イ 平和を願う思いの継承と市民意識の高揚

- 「三次市平和非核都市宣言」の普及啓発
- 平和首長会議等各団体と連携した平和施策の推進
- 平和教育の推進



ウ 「みんな違う・みんな同じ」の人権尊重の普及啓発

- 人権啓発と相談体制の充実
- 多様な機会を通じた人権教育の推進
- 重大な人権侵害である虐待・DV[※]に対する相談・支援の強化
- 多様性を認め合う社会の実現に向けた取組の推進

市民一人ひとりの「参加」「行動」「対話」(例示)

- 結婚しやすく、子育てもしやすい環境をつくる
- 平和や人権について学習する

など

